2011 年 5 月 6 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2011 年 3 月期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木　弘久）は、本日、2011年３月期連結決算（2010年４月１日～2011年３月31日）を確定いたしましたのでお知らせします。なお、詳細については、「平成23年３月期　決算短信」を併せてご参照ください。

＜ハイライト＞

■2011年３月期における連結業績は、売上高が4,809億円（前期比10.8％増）、営業利益が420億円（同7.2％増）、経常利益が261億円（同9.1％増）、当期純利益が54億円（同17.4％増）となりました。住宅事業セグメントにおける都心物件や仲介・販売受託事業セグメントの商品不動産を中心に、たな卸資産の収益性を見直し、評価損失約100億円を売上原価に計上した一方で、住宅分譲部門での計上戸数の増加や全般的な経費の削減に努めた結果、増収増益を確保しました。
なお、不動産ローン担保証券（CMBS）に係る営業エクイティ出資に関する評価損失や「東日本大震災」による建物等の復旧工事費用等を特別損失に、保有資産の売却益を特別利益に計上しております。

■住宅事業セグメント・・・マンションと一戸建てをあわせた住宅分譲部門では、計上（引渡）戸数が前期比966戸増加の5,077戸となり、増収増益となりました。また、好調な分譲マーケットを背景に期末の完成在庫数は113戸（前期末比422戸減）、契約済未計上残高は2,238戸（前期末比1,225戸増）となりました。

■ビル事業セグメント・・・昨年10月より満床稼働した「日本橋室町野村ビル」、及び昨年9月末に持分を追加取得した「東芝ビルディング」が寄与したこと等により、増収増益となりました。なお、空室率は、３月末時点で4.0％（前期末比△0.8ポイント）と改善しております。

■資産運用開発事業セグメント・・・収益不動産開発部門において、賃貸マンション等の収益不動産の売却が進捗した一方で、たな卸資産、及び営業エクイティ投資の評価損失を計上した結果、増収減益となりました。なお、資産運用部門では、昨年11月より、非上場のオープンエンド型のREITである「野村不動産プライベート投資法人」の運用を開始しました。

■2012年３月期の連結業績は、売上高3,900億円（前期比18.9％減）、営業利益440億円（同4.6％増）、経常利益280億円（同7.1％増）、当期純利益130億円（同137.6％増）を見込んでおります。
なお、連結業績予想の策定にあたっては、主力事業である住宅分譲事業において、各種資材の調達や工事期間中の電力供給等が不透明な状況にあるため、一部の物件の工期、及び売上計上期の遅延による影響を織り込んでいます。

■2012年３月期の年間配当金は１株当たり25円を据え置く予定です。

以　上

（添付資料）
平成 23 年３月期　決算短信
2011年３月期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（石川・平野）
TEL03－3348－8117 ・ FAX03－3343－0445